

防衛省が感謝状

長瀬剛

被災地での復興支援や自衛隊慰問活動を評価 アーティスト初



航空自衛隊松島基地で隊員を激励するライブを行うなど、東日本大震災の復興支援活動を続けてきたミュージシャンの長瀬剛(65)に対し、防衛省は20日、東京・市谷の自衛隊市ヶ谷駐屯地で、特別感謝状を贈呈した。同省がアーティストに特別感謝状を贈

呈するのは初めて。一川保夫防衛相(69)から感謝状を受け取った長瀬は今後も復興支援を続けることを約束。約1500人の隊員や職員を前にミニライブも行った。日本の自衛隊バンザイ!!とシャウトした。大歓声に包まれて登場した長瀬は、一川大臣に深々と一礼。受け

市ヶ谷の自衛隊駐屯地で初のミニライブ



取った感謝状を抱きしめた後、壇上の隊員たちを呼び寄せ、手をたたきながら喜びを分かち合った。会場に駆けつけた隊員たちに向かつて長瀬は「こんな賞をいただいた、みんなと一緒にこぶしを挙げた以上は、このまま帰るわけにはいかないでしょう」。待つまでもなく、駐屯地内では過去に例がない幸四曲のミニライブを敢行。松島基地のときと同様、「乾杯」では、全員が肩を組み合せて、右に左に揺れながら大合唱した。

ひとつの初披露

また、犠牲者への鎮魂や被災者への激励を込めた新曲「ひとつ」も初披露。同曲はNHK紅白歌合戦での歌唱が決まったが、「真っ先にみんなに聴いてもらいたくて、新しい歌を持つてきたよ。僕はみんな上官のよき下。僕はほえているわけじゃないよ」と笑われた。

来年大規模ツアー約束

そして「みんなの活動、みんなのまなざし、みんなの人間の力は僕の希望です。僕の誇りです。この歌を引つ提げて来年僕は全国を回ります。来年もまた、みんなと一緒に復興に立ち向かおう」と、来年は被災地を含めた大規模な全国ツアーを開催することを約束した。

感謝状を贈られ、自衛隊員に囲まれて笑顔を見せる長瀬剛(65)ライブも、会場を沸かせた。東京・新宿区の自衛隊市ヶ谷駐屯地で(神代雅夫撮影)